

〔国際会議発表〕

発表研究者	豊橋技術科学大学 博士後期課程 小林真佐大	2182104
参加会議	International Symposium on Information Theory and Its Applications (ISITA)	
開催場所	シンガポール	
出張期間	2018 年 10 月 27 日～10 月 31 日	
発表論文	Generalized Dirichlet-Process-Means for Robust and Maximum Distortion Criteria, ロバスト及び最大ひずみ規準のためのディリクレ過程平均法の一般化	

概要：

近年、コンピュータの発達によるインターネットの普及やセンサの高集積化による IoT（もののインターネット）の普及により、収集されるデータが大規模化しており、そのデータを有効に活用するための手法が求められている。その手法として機械学習法が注目され、世界中で研究されている。本研究では、大規模データの分析という社会的ニーズを鑑みて、機械学習法のうち、データ数の増加に対して高速に実行可能かつ有効なクラスタリングアルゴリズムを提案した。本研究を国際会議の場で発表する目的は、国際会議という多くの耳目が集まる場で発表し、同分野の研究者とディスカッションを行うことにより、研究の発展につながる知見を得て、今後の社会へと寄与することにある。実際、データの分析は人工知能や自動運転、医療分野など、今後の人間社会にとって必要不可欠な技術であると考えられる。

【得られた成果】

上記の内容について口頭発表を行った。発表を通じて国内外の研究者に研究の内容をアピールするとともに有益なコメントを得ることができた。また、他の研究者の発表を聞いて、情報理論とその関連分野についての最新の知見を得ることができた。今回が初めての国際会議であったが、自身の研究を発表するとともに国内外の研究者の発表を聴講し、いい刺激となった。今後も国際的に発表できるように研究を進めていきたい。